



犬のアレルギー性皮膚炎について

人間に花粉症や食物アレルギー、動物アレルギーがあるようにワンちゃんにもアレルギーを発症することがあります。特に「皮膚の症状」が強くなるのが特徴です。



では何が犬のアレルギーの原因になっているのでしょうか？

●環境アレルギー

花粉、イエダニ、カビなどの環境中の物質が原因となってアレルギーが起こります。花粉が原因となっている場合には、症状に季節性がみられることもあります。



●食物アレルギー

鶏肉や牛肉などの食物中のたんぱく質が原因となってアレルギーが起こります。

犬のアレルギーのうち、食物によるものは約10%で、あまり一般的ではなく、環境アレルゲン由来の方がはるかに可能性が高いとされています。

ワンちゃんのアレルギーは遺伝や体質が関係していたり、様々なアレルギーを併発していることが多いので、完治が難しく、長く付き合っていく必要があります。

次のような仕草や症状が頻繁にみられた場合には動物病院を受診しましょう！！



<仕草>

- ・体を舐める、噛む
- ・肢で体や頭を掻く
- ・頭を振る
- ・体を物にこすりつける

<症状>

- ・繰り返し起こる外耳炎
- ・皮膚の痒みや発疹
- ・脱毛
- ・フケやかさぶた
- ・皮膚が脂っぽくベタベタ



治療の一環として食餌療法があり、適切な療法食はアレルギーによる不快な症状を栄養学的、長期的に管理する事が出来ます。食餌療法によってかなり症状が軽減されます！！

アレルギー食紹介



食物アレルギーと環境アレルギーの両方において皮膚ケアの出来る療法食

オールスキンバリア



- ・単一の動物性たんぱく質として卵を使用。犬の場合、食物アレルギーの卵アレルギーはわずか4%と言われており、多くの食物アレルギーを回避可能。
- ・一年を通してアレルギーに対する皮膚バリアをサポート。
- ・夜間の引っ掻き行動の減少に効果あり。睡眠の質を高めることが出来ます。
- ・最短28日間で舐める、引っ掻く、頭を振る、皮膚の赤みの減少が科学的に証明済み。

環境アレルギー食

- ・ダームディフェンス
- ・スキンサポート

食物アレルギー食

- ・Z/D
- ・D/Dサーモン&ホテト D/Dタック&ホテト
- ・低分子プロテイン
- ・アミノペプチドフォーミュラ
- ・セレクトダック&タピオカ



療法食は獣医師が推奨する場合のみ使用するよう
にしましょう。
愛犬の皮膚についてお悩みの際は獣医師に相談して
下さい♪♪♪

年末年始の診療時間について

2022年12月31日(土)~2023年1月3日(火)まで
AM8:30-AM11:30
PM1:00-PM3:00

1月4日(水)から平常通りの診療
尚、フードショップ・ファミリープラクティスは1月1日から3日
までお休みになります。
ご利用の際は病院受付までお越し下さい。

